

# 文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）

博士課程前期課程 〔正規学生（一般・推薦） 〔特別学生（社会人）〕 〔特別学生（外国人留学生）〕	日本文学 日本語学領域 （日本文学・日本語学）	試験科目 専門外国語科目	受験番号 番
---	----------------------------	-----------------	-----------

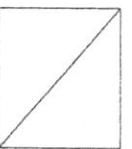
次の問題【I】【II】【III】から二題を選び、各々直接解答しなさい。したがって、提出の際は選択した一枚となる。

【I】

問題公表しない。

出典 『西鶴諸国ばなし』

↓ 解答記入不可



# 文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）

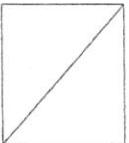
博士課程前期課程 〔正規学生（一般・推薦）〕 〔特別学生（社会人）〕 〔特別学生（外国人留学生）〕	日本文学日本語学領域 〔日本文学・日本語学〕	試験科目 専門外国語科目	受験番号 番
--	---------------------------	-----------------	-----------

次の問題【I】【II】【III】から二題を選び、各々直接解答しなさい。したがって、提出の際は選択した二枚となる。

【II】

問題公表しない。

出典  
『撰集抄』



## 文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）

博士課程前期課程		試験科目 専門 外国語科目	受験番号 番
「正規学生（一般・推薦）」	日本文学 日本語学領域 (日本文学・日本語学)		
「特別学生（社会人）」 「特別学生（外国人留学生）」			

次の問題【I】【II】【III】から二題を選び、各々直接解答しなさい。したがって、提出の際は選択した二枚となる。

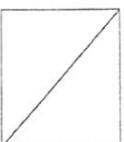
【III】

問題公表しない。

出典 『うつほ物語』

↓ 解答記入不可

3 枚 中  
3



# 文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）

博士課程前期課程 〔正規学生（一般）〕 〔特別学生（社会人）〕 〔特別学生（外国人留学生）〕	日本文学 日本語学領域 （日本文学・日本語学）	試験科目 専門基礎科目	受験番号 番

次の甲群三題からは一題を選び、乙の一題、計二題について、各々別紙答案用紙に解答しなさい。

↓ 解答記入不可

【甲群一一】  
以下の①～⑤から二つ選び、二百字程度で説明しなさい。なお、解答する際には必ず自身が選んだ設問の番号を記すこと。

- ① 紀行文としての芭蕉『奥の細道』について
- ② 仮名草子と浮世草子の違いについて
- ③ 古活字本について
- ④ 蔦谷重三郎について
- ⑤ 『好色五人女』について

## 【甲群一二】

次の①～⑤から三つを選んで、出典名もしくは作者名を記し、それについて簡単に解説しなさい。  
なお、解答する際には必ず自身が選んだ設問の番号を記すこと。

- ① この行長入道、平家物語を作りて、生仏といひける盲目に教へて語らせけり。
- ② 秘すれば花なり。秘せば花なるべからず。
- ③ 願はくは花のしたにて春死なんそきさらぎの望月のころ
- ④ 朝に死に、夕に生まるるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。
- ⑤ わが子の小次郎が齡ほどにて、容顔まことに美麗なりければ、いづくに刀を立つべしとも覚えず。

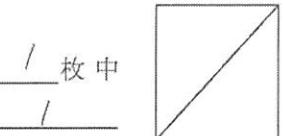
## 【甲群一三】

以下の①～⑤から二つ選び、二百字程度で説明しなさい。なお、解答する際には必ず自身が選んだ設問の番号を記すこと。

- ① 平安文学における夏 ② 王朝物語における暴力 ③ 王朝和歌における菊
- ④ 『源氏物語』玉鬘十帖 ⑤ 平安文学における葬送
- ⑥ 三派鼎立 悲慘小説 芥川賞創設 『戦旗』 写生文  
岩野泡鳴 『青鞆』 サークル詩 火野葦平 円地文子  
『細雪』 梁石日 『邪宗門』（詩集） 「第二藝術論」  
江藤淳 大正教養主義

## 【乙】

次に挙げる項目の中から五つを選択して、それぞれ一〇〇字から二〇〇字程度で説明しなさい。



# 文学研究科入学試験問題（解答別紙・直接解答）

博士課程前期課程 〔正規学生（一般）〕		日本文学 日本語学領域 （日本文学・日本語学）	試験科目 専門科目	受験番号 番
------------------------	--	----------------------------	--------------	-----------

次の甲群からは一題を選び、乙の一題、計二題について、各々別紙答案用紙に解答下さい。

【甲群一一】  
以下について、四百字程度で説明下さい。

十八世紀の人形淨瑠璃と歌舞伎との関係

【甲群一二】  
和漢混淆文について具体的な作品名を挙げながら論述下さい。

【甲群一三】  
平安後期物語の研究上の問題点について、四百字程度で自らの考えを記下さい。

【乙】  
近現代日本において、特定の作品／作家が聖典化（あるいは権威化）するまでにはどのような力学が働くか。具体的な作品／作家名を挙げながら、それが同時代においてどのように受け止められ、それ以後どのような力学の下で名作（家）として登録されるようになったかを説明しなさい。

↓ 解答記入不可

